

里庄町立 図書館二エース



絵 里庄東小学校
ふじわら みさき
1年 藤原 美咲

第317号
令和元年10月

お願い

図書館の本は町民みんなの財産です。

大切に扱ってください。

無断で持ち出さないでください。

返却期限を守ってください。

万一、壊れたり、破れたりしたときは、自分で直さないで、返却時に職員にお知らせください。

図書館利用バリアフリー運動

里庄町立図書館では、すべての人に気持ちよく、安心して利用していただくために、施設や設備にさまざまな心配りがなされています。玄関のスロープ、エレベーター、車椅子用のトイレ、駐車スペース、幼児用のトイレ、ベビーベッド、低い書架等です。この他に、車椅子や、老眼鏡も用意しています。気軽に図書館員に申しつけてください。

バリアフリーの精神を生かすためには、まわりの人の心づかいが大切になります。玄関前のレンガ敷きの所や、スロープの近くに自転車やバイクを置かないようにしてください。自動車は決められた枠の中に駐車してください。

よろしく願いいたします。

お知らせ

「こどものへや」改装

「こどものへや」を改装し、幼児への読み聞かせに適した部屋にしました。そして、名前も「おはなしのへや」に変更します。併せて、授乳コーナーも整備し、授乳やおむつ替えもしやすくなりました。ぜひ、ご利用ください。

高梁川流域自治体連携事業

備中圏域七市三町の広域利用相互返却サービス

高梁川流域連盟の加盟する新見市・高梁市・総社市・早島町・倉敷市・矢掛町・井原市・浅口市・里庄町・笠岡市の公立図書館（27施設）で圏内の住民の利便と文化向上を図るため、平成26年4月1日から「広域利用サービス」を実施しています。

これは、圏内の住民が圏内の公立図書館で図書を借りられるサービスで、これまでは借りた図書の返却は、借りた図書館でしかできませんでした。

さらに住民の利便性の向上を図るため、平27年9月1日から圏内の公立図書館であれば、どの図書館の窓口でも返却ができるようになりました。

ただし、鴨方図書館・金光さつき図書館・寄島図書館で借りた図書は、それぞれの図書館にお返しください。

インターネットで里庄町立図書館のホームページを開いてみよう。

里庄町立図書館のホームページに蔵書検索機能があるのはご存じですか？自宅にいながら、本やCDが検索でき、さらに現在貸出中かどうかが分かります。その中でも特にお勧めするのが、朗読CDです。プロによる文学作品の朗読は一味違います。効果音もあり、臨場感があります。すでに活字で読んだ方も、初めての方も、目の不自由な方も、読むのが苦手な方も、ぜひ一度、耳で聞く読書を楽しんでみてください。

「佐藤清明」特設サイトを開設

佐藤清明（1905～1998）は、日本で初めての妖怪事典を出版した里庄出身の博物学者です。また、佐藤清明の業績を研究するための団体「清明研究会」の活動の様子などをのせています。忘れられた知の巨人「佐藤清明」に興味のある方、ぜひご覧ください。

行事予定

お知らせ

11月3日（日）は、メンテナンスのため臨時休館日とします。ご迷惑をおかけしますが、よろしく願いいたします。

◎10月 特設展示（芥川賞・直木賞展）

1日（火）**休館日**

おはなし宅配便 東幼 10:00～10:45

2日（水）英会話講座 昼の部 13:00～14:30

押し花「ふしぎな花クラブ」 12:00～16:00

3日（木）**親子で楽しむおはなし会 10:30～**

4日（金）エルマーの工房 13:30～

5日（土）

6日（日）

- 7日(月)
- 8日(火) **休館日**
- 9日(水) 英会話講座 昼の部 13:00~14:30
- 10日(木)
- 11日(金) **里庄中学校美術作品展 ~17日(木) 9:00~18:30**
 おはなし宅配便 東小5年 13:55~14:40
 エルマーの工房 13:30~
- 12日(土) おはなしトトロ 14:00~
- 13日(日) **おはなし会 10:30~11:30**
 ちぎり絵教室「紙遊会」 9:00~16:00
 組み木の広場「木楽工房」 10:00~16:00
- 14日(月)
- 15日(火) **休館日**
- 16日(水) 英会話講座 昼の部 13:00~14:30
- 17日(木) **親子で楽しむおはなし会 10:30~**
- 18日(金) エルマーの工房 13:30~
- 19日(土)
- 20日(日) **休館日**
- 21日(月) **写真とやきもの展 ~28日(月) 9:00~18:30**
- 22日(火) **休館日**
- 23日(水) 英会話講座 昼の部 13:00~14:30
- 24日(木)
- 25日(金) エルマーの工房 13:30~
- 26日(土) **おたのしみ会(ハロウィーン・パーティー) 14:00~**
 おはなしトトロ 14:00~
- 27日(日) ちぎり絵教室「紙遊会」 9:00~16:00
- 28日(月)
- 29日(火) **休館日**
- 30日(水) 英会話講座 昼の部 13:00~14:30
- 31日(木) **月末整理休館日**

◎ **11月 特設展示(文学賞受賞作品展)**

- 1日(金) **リサイクル市 ~7日(木) 9:00~19:00**
 エルマーの工房 13:30~
- 2日(土)
- 3日(日) **臨時休館日**
- 4日(月) **文化協会作品展 ~8日(金) 9:00~17:00**
 ただし、最終日は12:00まで

- 5日(火) **休館日**
- 6日(水) 英会話講座 昼の部 13:00~14:30
押し花「ふしぎな花クラブ」 12:00~16:00
- 7日(木) **親子で楽しむおはなし会 10:30~**
- 8日(金) エルマーの工房 13:30~
- 9日(土) おはなしトトロ 14:00~
- 10日(日) **おはなし会 10:30~11:30**
組み木の広場「木楽工房」 10:00~16:00
- 11日(月)
- 12日(火) **休館日**
- 13日(水) 英会話講座 昼の部 13:00~14:30
- 14日(木)
- 15日(金) エルマーの工房 13:30~
- 16日(土) **第4回清明を読む会 13:00~**
- 17日(日) **休館日**
- 18日(月)
- 19日(火) **休館日**
- 20日(水) **ちぎり絵作品展 ~25日(月) 9:00~17:00**
英会話講座 昼の部 13:00~14:30
- 21日(木) **親子で楽しむおはなし会 10:30~**
- 22日(金) エルマーの工房 13:30~
- 23日(土) おはなしトトロ 14:00~
- 24日(日)
- 25日(月)
- 26日(火) **休館日**
- 27日(水) 英会話講座 昼の部 13:00~14:30
- 28日(木)
- 29日(金) エルマーの工房 13:30~
- 30日(土) **月末整理休館日**

展示・催し案内

◎特設コーナー 10月

場所 カウンター前の特設架

内容 芥川賞・直木賞展

◎里庄中学校美術作品展

期日 10月11日(金) ~17日(木) 9:00~18:30

ただし、日曜日は、9:00~17:00

場所 2階 展示室

内 容 里庄中学校の美術作品を展示します。

◎写真とやきもの展

期 日 10月21日(月)～28日(月) 9:00～18:30

ただし、日曜は、9:00～17:00

場 所 2階 展示室

内 容 徳山 容 さんの里庄町内の風景や花の写真(約50点)とやきものを展示します。

◎おたのしみ会(ハロウィーン・パーティー)

期 日 10月26日(土) 14:00～15:00

場 所 2階 視聴覚室

内 容 ハロウィーンランプ作りと楽しい読み聞かせ。

対象・定員 子ども～大人・20人

申込み 10/2(水)から申込み受付

材料費 200円(当日集金)

◎特設コーナー 11月

場 所 カウンター前の特設架

内 容 文学賞受賞作品展

◎文化協会作品展

期 日 11月4日(月)～8日(金) 9:00～17:00

ただし、最終日は、12:00まで

場 所 2階 展示室

内 容 文化協会の作品を展示します。

◎第4回清明を読む会

期 日 11月16日(土) 13:00～

場 所 2階 視聴覚室

演 題 清明先生とのフィールドワークの思い出

講 師 渡邊義行 さん(元清心女子高等学校教諭)

◎ちぎり絵作品展

期 日 11月20日(水)～25日(月) 9:00～17:00

場 所 2階 展示室

内 容 文化協会ちぎり絵部の作品を展示します。

◎おはなしの会

※親子で楽しむおはなし会

日時 毎月 第1・第3 木曜日 10:30～

内容 幼児とお母さんと職員の楽しい語らい

読み聞かせ、手遊び、ストーリーテリングなど。

※おはなし会

日時 毎月 第2日曜日 10:30～11:30

内容 幼児・小学生～大人を対象に、テーマを決めて実施します。

図書館ボランティア

(どなたでも参加できます。お手伝い下さい。)

◎おはなしボランティア「おはなしトトロ」

・日時 第2・4 土曜日 14:00～

・内容 読み聞かせ・パネルシアター・エプロンシアター・

ストーリーテリング・手遊びなどの練習、おはなし会やおはなし宅
配便への参加・実演。

◎手づくりボランティア「エルマーの工房」

・日時 毎週 金曜日（祝日を除く）13:30～

・内容 おはなしのキャラクターやパネルシアター・エプロンシアターの作製。

趣味の会・学習会 新入会員募集中

◎組木の広場「木楽工房」

・日時 毎月第2日曜日 10:00～16:00

・内容 組木作製 *材料費実費負担

◎ちぎり絵教室「紙遊会」

・日時 毎月第2日曜日 9:00～16:00

・内容 ちぎり絵作製 *資料制作費負担

◎押し花「ふしぎな花クラブ」

・日時 毎月第1水曜日 12:00～16:00

・内容 おしぼな作品作製 *材料費実費負担

◎里庄歴史勉強会

・日時 毎月第4日曜日 13:30～15:30

・内容 近隣市町村の歴史探訪 *資料制作費負担

◎清明研究会

日時 毎月1回 13:00～ 2時間程度

会場 里庄図書館 2階視聴覚室 その他

内容 佐藤清明についての研究、資料の整理など

講座案内 新入会員募集中

◎英会話講座

日時 毎週 水曜日

昼クラス 13:00～14:30

夜クラス 19:00～20:30

会場

昼クラス 図書館 2階 視聴覚室

夜クラス 福祉会館 2階 研修室

講師

昼クラス デボン先生

夜クラス ジョンソン先生

新着本の案内

8月中旬から9月上旬に購入した図書の一部です。

大人の本

◎ 日本の小説

▽老父よ、帰れ (久坂部 羊：朝日新聞出版)

老人ホームから認知症の父を自宅に引き取った、45歳の好太郎。父の介護に懸命に取り組むが…。高齢者医療を知る医師でもある著者が、家族の悲喜劇を描く。

▽虹にすわる (瀧羽 麻子：幻冬舎)

職人気質の先輩と芸術家肌の後輩。性格も能力も正反対のアラサー男子が、学生時代の約束のもと、小さな椅子工房を始める。不器用なふたりは、友情でも恋でも仕事でもギクシャクし…。

▽森があふれる (彩瀬 まる：河出書房新社)

作家・埜渡徹也の妻・琉生は、突然、大量の植物の種を飲み、倒れる。翌日、彼女の毛穴から皮膚を突き破って出てきた芽は、やがて森となって街をも浸食しはじめ…。現実を凌駕する長編小説。

▽地先 (乙川 優三郎：徳間書店)

心は、色褪せてはいない。人生の後半にさしかかった女と男。艶めいた思い出と、思いがけない出来事で揺れる…。来し方と前途のあわいで闘う人々を描いた全8篇を収録。

▽昭和天皇の声 (中路 啓太：文藝春秋)

昭和天皇が政治的決定を下したのは三度。日本にとって、天皇とはいかなる存在か。国民の想いに戸惑い、悩む、生身の天皇の姿を描く。

▽ラッコの家 (古川 真人：文藝春秋)

見えないからこそ見えてくるものがある。夢とリアルが絶え間なく交錯する老女は、自らの空想に怯えていたことを笑い飛ばして生きる…。

▽五つ数えれば三日月が (李 琴峰：文藝春秋)

日本で働く台湾人の私、台湾に渡った友人の実桜。平成最後の夏の日、二人は東京で再会する。年月を経て募る思いを繊細に描く。

▽ 20 CONTACTS (原田 マハ：幻冬舎)

2019年9月開催の展覧会「CONTACT つなぐ・むすぶ 日本と世界のアート展」のために原田マハが書き下ろしたアート短編集。アート、文学、映画、マンガなど20名の巨匠たちの創作の秘密を解き明かす。

▽銀座の紙ひこうき (はらだ みずき：中央公論新社)

本は紙でできている。それは、時代が変わっても、変わらない。雑誌黄金期に紙の「仕入」に奮闘する若者の仕事と恋を描いた、ハートフルな人間ドラマ。

▽MGC (蓮見 恭子：光文社)

東京オリンピック代表を賭けた、マラソングランドチャンピオンシップ「MGC」。女性ランナーたちが挑む一発勝負の選考会で、オリンピックへの切符を勝ち取ったのは誰だ!? 疾走感溢れるエンタメスポーツ小説。

▽世話を焼かない四人の女 (麻宮 ゆり子：光文社)

裏の顔を持つ住宅メーカー総務部長、逃げた夫に代わり経営者となった清掃会社社長…。個性豊かな4人の働く女性たちを描く新時代お仕事小説。

▽欺す衆生 (月村 了衛：新潮社)

戦後詐欺の全ての源流とされる横田商事事件。末端の営業マンだった隠岐は<ビジネス>を再興し、詐欺の快楽に取り憑かれていく。やがてそれは国家を欺く一大事業へと発展し…。

▽土に贖う (河崎 秋子：集英社)

全く無くなるわけではない。形を変えて、また生きられる。養蚕、ミンクの養殖、ハッカ栽培など、北海道で一度は栄えるも衰退した産業に携わる人間たちを峻烈に描いた短編集。

◎ SF

▽先をゆくもの達 (神林 長平：早川書房)

火星の古いコロニー、ラムスタービル。ナミブ・コマチは、火星で初めての男児を産み落とすが…。火星と地球をめぐる<わたし>と<いま>の相克の物語。作家デビュー40周年記念作品。

◎ 歴史・時代小説

▽ナポレオン 1 台頭篇 (佐藤 賢一：集英社)

一代でフランス皇帝に上り詰めたナポレオンの一生を描く。1は、幼少期からイタリア方面軍司令官として数々の戦争に歴史的勝利を収めるまでの躍進期を描く。

▽ナポレオン 2 野望篇 (佐藤 賢一：集英社)

一代でフランス皇帝に上り詰めたナポレオンの一生を描く。2は、若き常勝將軍から初代フランス皇帝の座へと駆け上がるまでを描く。

▽落花狼藉 (朝井 まかて：双葉社)

江戸時代初期。葦の生う辺地に徳川幕府公認の傾城町、吉原が誕生した。遊女屋の女将・花仍は傾城商いの酷と華に惑い、翻弄されながらも、やがて町の大事業に乗り出す。

▽戦国十二刻 (木下 昌輝：光文社)

相国寺の焼亡までの 24 時間、土岐家の滅亡までの 24 時間、長宗我部盛親の大坂城脱出までの 24 時間…。名高き軍師たちの、新たな時代へとつながる濃密な 24 時間を描いた時代小説。

▽万波を翔る (木内 昇：日本経済新聞出版社)

開国から 4 年、幕府は外国局を新設した。実力本位で任ぜられた奉行は破格の穎才ぞろい。そこに鼻っ柱の強い江戸っ子の若者が出仕して…。維新前夜、近代外交の礎を築いた幕臣たちの物語。

▽飛雲のごとく (あさの あつこ：文藝春秋)

元服の儀を済ませ、名実ともに当主となった林弥は、義姉への告げられない想いを募らせながら、運命の濁流に翻弄され…。身分や立場の差を超えて時代を変えようとする少年剣士の友情と成長を描く。

▽至誠の残滓 (矢野 隆：集英社)

明治 10 年代。死んだはずの男、元新撰組十番組組長・原田左之助が生きていた！彼は、幕末の動乱を生き抜いた同志・山崎烝、斎藤一と共に、新政府の闇に近づき…。

▽熱源 (川越 宗一：文藝春秋)

樺太で生まれたアイヌ、ヤヨマネクフは故郷を奪われたポーランド人や、若き日の金田一京助と出会い、自らの生きる意味を見出し…。明治維新後、樺太のアイヌに何が起こっていたのか。アイヌの闘いと冒険を描く傑作巨篇。

◎ 推理・ミステリー

▽流星のソード (柄刀 一：祥伝社)

隕石から作られた流星刀が眠る街・小樽で起きた 2 つの殺人。そして流星刀づくりに関わった刀工一族にまつわる秘密。名探偵・浅見光彦と IQ190 の天才・天地龍之介、再会した名コンビが華麗に推理する！

▽伊勢佐木町探偵ブルース (東川 篤哉：祥伝社)

伊勢佐木町に事務所を構える私立探偵・桂木圭一がある日、知らぬ間に再婚していた母親を訪ねると、お相手は神奈川県警本部長だった。しかもその息子は伊勢佐木署のエリート刑事で…。

▽無実の君が裁かれる理由 (友井 羊：祥伝社)

突然、同級生へのストーカー行為を告発された大学生の牟田幸司。身に覚えはないが、“証拠”を盾に周囲は犯人扱いする。追い詰められた幸司を救ったのは…。

▽電気じかけのクジラは歌う (逸木 裕：講談社)

人工知能が個人にあわせて作曲をするアプリが普及し、作曲家は絶滅した。元作曲家の岡部のもとに、残り少ない現役作曲家で親友の名塚が自殺したと知らせが入る。名塚から送られてきた謎のオブジェと未完の新曲の意図とは？

▽R のつく月には気をつけよう 2 賢者のグラス (石持 浅海祥伝社)

“悪魔から頭脳を買った”男、負けず嫌いな女、酒豪の女…。いつもの仲間が集まれば、おいしい料理と「謎」を肴に、宴は始まり…。帰ってきた、小粋な“宅飲み”ミステリー。

▽罪の轍 (奥田 英朗：新潮社)

東京オリンピックを翌年にひかえた昭和38年、浅草で男児誘拐事件が発生した。しかし犯人が求めていたのは、大金でも、子どもの命でもなく…。犯罪ミステリー。

▽穴掘り (本城 雅人：双葉社)

遺体なき殺人事件を捜査する刑事・信楽征一郎。暗い地面の下に埋められた遺体の声なき声を聞き、ベテラン刑事は執念で逮捕する…。悲しき6つ事件を綴る珠玉の連作短篇集。

▽犯人に告ぐ 3 紅の影 (雫井 脩介：双葉社)

依然として行方の分からない<大日本誘拐団>の主犯格・淡野。神奈川県警特別捜査官の巻島はネットテレビの特別番組に出演し、番組上での対話を呼びかける。だが、その背後で驚愕の取引が…。

▽神奈川宿雷屋 (中島 要：光文社)

雷屋の女中・お実乃は、宿泊客の世話が仕事だ。割高な雷屋に泊まるのは、癖の強いお客ばかり。一本気で働き者のお実乃はしょっちゅう振り回されている。ある日、客が謎の死を遂げ…。幕末の宿場町を舞台にした本格時代推理。

▽腸詰小僧 (曾根 圭介：光文社)

フリーライターの西嶋の元を、「腸詰小僧事件」の被害者の父が訪ねてきた。当時12歳だった犯人の「腸詰小僧」に合わせろと言う…。表題作をはじめ、全7編を収録した短編集。

▽百舌落とし (逢坂 剛：集英社)

元議員が殺され、元警察官の大杉と公安の倉木美希は調査を開始する。謎と伝説に包まれた“殺し屋百舌”とは? 真の黒幕が姿を現したとき、驚愕の真実が…。MOZUシリーズ完結。

▽黙秘犯 (翔田 寛：KADOKAWA)

住宅街で大学生が撲殺された。不可解な点を残しながらも、目撃証言と凶器に残った指紋から犯人は確定したかに思われた。だが、同時期に起きた海水浴場での溺死事件と連続婦女暴行事件が複雑に絡み合っていることが判明し…。

▽カインは言わなかった (芦沢 央：文藝春秋)

公演直前に失踪を遂げた若きダンサー。鍵を握るのはカリスマ演出家と因縁の弟。芸術の神に魅入られた美しき男達の許されざる罪とは…。夢を追い、欲望に翻弄される人間の哀しき業に迫った慟哭ミステリー。

▽盲剣楼奇譚 (島田 荘司：文藝春秋)

警視庁捜査一課の吉敷竹史は美術展で一枚の日本画に惹きつけられた。不思議な美剣士の幽霊画の秘密とは…。加賀百万石から現在へと続く謎の連鎖に挑む。吉敷竹史シリーズ。

▽トリガー 上 (真山 仁：KADOKAWA)

検事で馬術競技韓国代表のセリョンは、東京オリンピックの直前、凶漢に襲われ、ある不正に関する極秘捜査をやめるように脅される。2020年7月、ついにオリンピックが開幕し…。

▽トリガー 下 (真山 仁：KADOKAWA)

オリンピックの馬術競技会場で起きたセリヨン暗殺事件。背後には日米韓を揺るがす極秘情報が存在していた。事件の統括責任者・冴木は北朝鮮の潜伏工作官と真相に迫ろうとするが…。

▽震える天秤 (染井 為人：KADOKAWA)

地方のコンビニで、高齢ドライバーによる死亡事故が発生。警察は加害者の認知症を疑い、責任能力を調査している。違和感を覚え取材に乗り出したライターの俊藤律は、続々と予想外の事実を知ることになり…。社会派サスペンス。

▽三匹の子豚 (真梨 幸子：講談社)

役所から突如届いた、見ず知らずの叔母の扶養義務の手紙。人生の絶頂に思っていた売れっ子脚本家・亜樹の目の前に、不吉な黒い点が広がっていく。

▽ボッティチェッリの裏庭 (梶村 啓二：筑摩書房)

タカオの親友フランツがスイスで謎の死を遂げ、未亡人が何者かに誘拐された。身柄はフランツが所有していた絵と交換だという。その絵とはルネサンスの巨匠が遺した未発見の真筆。タカオはまだ見ぬ名画の捜索に乗り出した…。

▽落日 (湊 かなえ：角川春樹事務所)

新人脚本家の甲斐千尋は、新進気鋭の映画監督・長谷部香から、新作の相談を受けた。香は15年前に起きた、判決も確定している「笹塚町一家殺害事件」を手がけたいというが…。絶望の淵を見た人々の祈りと再生の物語。

▽罪と祈り (貫井 徳郎：実業之日本社)

元警察官の辰司が、墨田川で死んだ。息子の亮輔と幼馴染みで刑事の賢剛は、賢剛の父の自殺とのつながりを疑う。そして時代を揺るがした未解決誘拐事件の真相とは？

◎ ホラー・怪談

▽ブルシャーク (雪富 千晶紀：光文社)

不二宮市職員の矢代は、来常湖トライアスロン大会に向けて奔走していた。そんななか水質の異常に気づいた同期の関が、来常湖に検体を取りにいくと言い残して失踪する。関を捜す矢代は、湖にサメが迷い込んでいると聞き…。

◎ エッセイ

▽センス・オブ・シェイム (酒井 順子：文藝春秋)

食べ放題での「元取り」食い、「お母さんに感謝」からのハグ。ブックカバーをしないで本を読む…。「何を恥ずかしいと思うか」には人によって差がある。共感呼び起こすエッセイ集。

▽命あれば (瀬戸内 寂聴：新潮社)

季節の移ろいを眺め、ふるさとを思い、懐かしい人々を偲び、非業な事件を嘆く。この世のあらゆる変遷を見てきた97歳の著者が、この時代を生き抜く心がまえを真摯な言葉で綴る。

▽私は幽霊を見ない (藤野 可織：KADOKAWA)

心霊体験をしたいがために、廃墟訪問までしたが、ニアミスまでは体験できたものの、幽霊には会えていない…。“日常のずれ”を描いた著者初めてのエッセイ。

▽空から森が降ってくる (小手鞠 るい：平凡社)

ニューヨークから3時間。ウッドストックの森に住む小説家が、美しくも厳しい自然や野生動物との交流、旅先でのできごとを綴った、物語のようなエッセイ集。

◎ 海外紀行・旅行記

▽この道をどこまでも行くんだ (椎名 誠：新日本出版社)

コブラの踊り、タクラマカン砂漠の白骨林、アウシュビッツの今…。思いがけない不思議な光景が満載! 自然・人々への讃歌フォト50枚を、エッセイとともに収録する。

こどもの本

◎ 社会科

▽こども六法 (山崎 聡一郎：弘文堂)

法律はみんなを守るためにある。知っていれば大人に悩みを伝えて解決してもらいの役に立つよ。いじめ、虐待に悩んでいるきみへ、楯となる法律について、イラストとやさしい言葉で解説する。

◎ 理科・自然科学

▽NHK カガクノミカタ 1 観察してみよう (NHK「カガクノミカタ」制作班：NHK 出版)

断面を見たり、下から見たり…。さまざまな「ミカタ」を通して、自分なりの「フシギ=問い」を見つけ、それを「観察しながら」探っていく方法を紹介。NHK(Eテレ)の科学教育番組「カガクノミカタ」から生まれた本。

◎ 日本の作品

▽しゅくだいかけっこ (福田 岩緒：PHP 研究所)

運動会までに速く走れるようになりたい! クラスで一番足が遅いゆうまは、むかし陸上選手だった町内のおじいちゃんに出会った。それから、運動会に向けてかけっこの特訓が始まり…。

▽昔はおれと同年だった田中さんとの友情 (柳月 美智子：小峰書店)

拓人は、スケボーが大好きな小学6年の男子。いつも遊んでいた公園がスケボー禁止になるが、スケボーができるとおきの場所を見つける。そこで田中さんというおじいさんと出会い…。

▽ねこの町のホテル プチモンド (小手鞠 るい：講談社)

ねこの町のホテルで開かれるハロウィンパーティ。会場になる古い別館の修理をしていた犬の大工のハリソンさんが、ある夜、忘れ物をとりに別館へ戻ると、誰もいないはずなのに明かりと笑い声が…。

▽しぶがきほしがきあまいかき (石川 えりこ：福音館書店)

季節は秋。ちえちゃんが、おばあちゃんに教わりながら、初めての干し柿作りに挑戦します。太陽の下でどんどんあまくなっていくちえちゃんの干し柿。ところがある夜、なぞの干し柿どろぼうがあらわれて…!?

◎ 外国の作品

▽ヤナギ通りのおばけやしき (ルイス・スロボドキン：瑞雲舎)

ハロウィンの夜、誰も住んでいないはずのヤナギ通りのおばけやしきにあかりがともっていました。小鬼に変装した姉弟が「いたずらか、おかしか!」と訪ねてみると、中から出てきたおじいさんが「いたずらをあげる」と言って…。

▽ハヤクさん一家とかしこいねこ (マイケル・ローゼン：徳間書店)

いつも「早く早く」と慌てている、ハヤクさんちのお父さんとお母さん。今朝、寝坊したふたりは、息子のハリーを学校に送っていくのを忘れ、大急ぎで会社へ行きました。家においてけぼりになってしまったハリーを助けたのは…。

◎ **ファンタジー・SF**

▽ヤービの深い秋 (梨木 香歩：福音館書店)

ふわふわの毛に包まれた、ハリネズミのように小さくてふしぎな生きもの、ヤービ。ヤービたちと「大きい人」たちは、深い海の時間で出会い…。永遠の子どもたちに贈る、マッドガイド・ウォーターシリーズ第2弾。

◎ **日本の絵本**

▽コリンのお店びらき (山西 ゲンイチ：BL 出版)

小学1年生になったコリンは、父さんたちがフリーマーケットに参加すると聞いて、自分もいっしょにお店を出すことにしました。もう小学生だから、いらなくなったものを売ろう! お客さんは来るかな?

▽ふみきりかんかんくん (武田 美穂：講談社)

ふみきりのかんかんくんには、シャーとダンキーというふたごの妹がいて…。月刊幼児誌『げんき』の連載から生まれた、幼児が大好きな「踏切」が主人公の絵本。5話の小さなお話を収録。

▽あやしいぶたのたね (佐々木 マキ：絵本館)

走るのが遅くて、一度もぶたを捕まえたことがないおおかみは、ある日、きつねはかせから、ひとつの茶色い粒をもらった。それは、はかせの発明した「ぶたのたね」だというのだが…。「ぶたのたね」シリーズ第4弾。

▽いえでをしたてるてるぼうず (にしまき かやこ：こぐま社)

お出かけするみんなにお願いされ、頑張っているいい天気にしたのに、家に置いていかれた、てるてるぼうず。「こんなおうちにいたくない!」と家出して…。みんなに忘れられ、プンプン怒って、家を飛び出したてるてるぼうずのお話。

▽水の絵本 (荒井 良二：講談社)

どんなものより すきとおってて どんな いろも してないのに どんな いろにでもなれるもの。長田弘と荒井良二の二人が紡ぎだす、やわらかい文体と美しい色調が織りなす絵本。

▽サン・サン・サンタひみつきち (かこ さとし：白泉社)

たった1日で各家庭をいっせいに訪れることができるサンタクロース。北極の氷の下にある大きな工場にその秘密が? 1980年代に描かれた、かこさとしの隠れた名作絵本を復刊。

▽おつきさまひとつづつ (長野 ヒデ子：童心社)

小さいあこちゃんは、おかあさんとおうちに帰ります。空には大きなおつきさま。あこちゃんは、南極やアフリカ、アメリカ、中国にもおつきさまがあるのか、おかあさんに質問します。みんなにおつきさまがあることを知り…。

◎ 外国の絵本

▽ガンピーさんのサイ (ジョン・バーニンガム：BL 出版)

ガンピーさんがアフリカで会ったのは、親をなくしたサイの子ども。そこでガンピーさんは…。いつもあたたかいまなざしで子どもや動物たちを見つめ続けた、ジョン・バーニンガムの最後の作品。

▽カルメラのねがい (クリスチャン・ロビンソン：鈴木出版)

カルメラは今日がお誕生日。7歳になったから、お兄ちゃんと一緒に町に出かけられます。早足でずんずん進むお兄ちゃんについて行くと、コインランドリーの前でタンポポを見つけました。綿毛を吹こうとするとお兄ちゃんは…。

▽スノーウィとウッディ (ロジャー・デュボアザン：好学社)

北極で暮らすシロクマのスノーウィは、かもめのキティに話を聞き、ヒグマのウッディがすむという緑豊かな国に泳いで渡りました。出会った2匹は初めはけんかをしますが、助け合ったことで仲良しに。でも冬眠の季節がきて…。

▽人形の家にすんでいたネズミ一家のおるすばん (エミリー・サットン：徳間書店)

伯爵の大きなお屋敷の中にある人形の家に、ネズミの一家が暮らしていました。ある日、伯爵が旅行に出かけると、留守をあずかった秘書がなにやら悪だくみを始め…。「人形の家にすんでいたネズミ一家のおはなし」の姉妹編。

▽おはようおやすみぼくのせかい (ローレン・ロング：評論社)

お日さまがのぼると、こうさぎはみんなに「おはよう」のご挨拶。日がしずむと「おやすみなさい」を言い…。「おやすみなさいおつきさま」で知られるマーガレット・ワイズ・ブラウンの未発表原稿にローレン・ロングが絵を描く。

▽おじいちゃんのがのこしたものは… (ジム・フィールド：評論社)

ミアの家族はクリスマスになると、おじいちゃんにもらった手紙を読み返します。そこには、未来の地球の幸せを願うおじいちゃんの思いがあふれていて…。物語の名手マイケル・モーパーゴが全ての子どもたちにおくるメッセージ。

▽ライオンになるには (エド・ヴィアー：BL 出版)

正しい道はひとつじゃない。やさしくて詩を書くのが好きなライオンのレオナルドが、アヒルのマリアンヌと友だちになった。ほかのライオンたちは、レオナルドにライオンらしく獰猛に振る舞うように言うが…。

▽くるまがいっぱい! (リチャード・スキャリー：好学社)

動物たちを乗せたトラック、ガソリンを運ぶタンクローリー、二階建ての大きな長距離バス…。見ているだけで楽しくなる、カラフルなちょっと昔の外国のくるまがいっぱいの絵本。

利用案内

開館時間

(4月1日～11月末まで)

▽ 午前9時～午後7時

(ただし、日曜・祝日は、午前9時～5時まで)

(12月1日～3月末まで)

▽ 午前10時～午後6時

(ただし、日曜・祝日は、午前9時～5時まで)

休館日

▽毎週 火曜日

▽毎月 第3日曜日

月末整理日 (月末が火曜日等で休館の場合は、その前日を休館)

▽年末年始 (12月28日～1月3日)

▽蔵書点検日 (3月1日～7日)・年度末整理 (3月30日)

貸出

▽利用者カードにより館外貸出をします。

▽図書・雑誌 一人 10冊 15日間

団体 100冊 30日間

▽視聴覚資料 一人 5点 10日間



里庄町立図書館キャラクター

ふくちゃん & 里ちゃん

里庄町立図書館ニュース
No. 317 2019. 10. 1
岡山県瀬口郡里庄町里見2621
電話 0865-64-6016